

第2回まちづくりビジョン（仮称）策定委員会会議報告

| | | | | | | | | | | | | | |
|---------|---|---------|----------|---------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--|
| 日 時 | 平成21年 10月 7日（水）19：30～21：20 | | | | | | | | | | | | |
| 場 所 | 役場大栄庁舎 第1会議室 | | | | | | | | | | | | |
| 出席者 | <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">福井利明委員長</td> <td style="width: 33%;">進木富夫副委員長</td> <td style="width: 33%;">淀瀬千賀子委員</td> </tr> <tr> <td>三谷里美委員</td> <td>田中良夫委員</td> <td>竹歳美穂子委員</td> </tr> <tr> <td>福山 浩委員</td> <td>種子至剛委員</td> <td>飯田鈴子委員</td> </tr> <tr> <td>徳岡幸裕委員</td> <td>山信幸朝委員</td> <td></td> </tr> </table> <p>（欠席）福谷則枝委員、林 邦臣委員、岩田由美委員</p> <p>（事務局）山口秀樹副町長、田中課長、大庭室長、中野主任</p> | 福井利明委員長 | 進木富夫副委員長 | 淀瀬千賀子委員 | 三谷里美委員 | 田中良夫委員 | 竹歳美穂子委員 | 福山 浩委員 | 種子至剛委員 | 飯田鈴子委員 | 徳岡幸裕委員 | 山信幸朝委員 | |
| 福井利明委員長 | 進木富夫副委員長 | 淀瀬千賀子委員 | | | | | | | | | | | |
| 三谷里美委員 | 田中良夫委員 | 竹歳美穂子委員 | | | | | | | | | | | |
| 福山 浩委員 | 種子至剛委員 | 飯田鈴子委員 | | | | | | | | | | | |
| 徳岡幸裕委員 | 山信幸朝委員 | | | | | | | | | | | | |
| 内 容 | <p>開会</p> <p>あいさつ</p> <p>委員長：大きな台風が近づく中お集まりいただきありがとうございます。 1回目の会議でタイムスケジュールが示されており、ゴールへ向けてしっかりと方向付けをし、再度この後の作業について道筋をつけてしまいたいと考えているので、ご協力をお願いします。</p> <p>協議</p> <p style="padding-left: 20px;">町民アンケートの分析について</p> <p>事務局：資料に沿って説明。</p> <p>（委員の感想）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者の住みたい町ということ今まで考えたこともなかった。やはり育て、子どもができる状況が必要だと思う。ボランティア活動をされている方のまちづくりビジョンに対する意見を反映させたい。 ・回収率が低いのは、ある程度内容も難しいことが原因ではないか。項目が多く、面倒くさいという人もあったのでは。中学生アンケートで、北栄町に愛着があるという回答が約70%と、大部分の生徒が北栄町が好きだということだが、将来住みたいかとなると約40%で少しショックだ。 ・合併して4年経ち、まだ北条と大栄の隔たりというのが感じられ、そのあたりを考えていかなければと思った。 ・町に対する愛着と定住のところでは、自分も愛着はあるけど定住するかということになれば、雇用の面が気になるところ。20歳以上も中学生も地域活動への参加意欲は高いのでそこは大切にしていきたい。 ・若者の考えは、もう少し便利がいい町というのがいいのかなと思う。 合併して何年か経つが、なんとなく一体感がないような気がする。 | | | | | | | | | | | | |

- ・アンケートの内容について、委員が最初から関わることはできなかったのか。のんびりした町だが活気がない。子育て支援など、子どもを育てているお母さんたち20代、30代の関心度合いが半分くらいに分かれているのが不思議。
- ・大人は現実的に見ており、中学生は夢を持って回答しているような印象を持った。

(委員の意見)

- ・20歳以上の半数以上は回答がなかった。なぜかということは調査する必要があると思う。無記名だから難しいが、半分の意見はわからないということ。これからもアンケートをとることがあると思うが、返ってこないものに対する処理について、返ってこないから仕方がない、ということに対し、何かできないのかという思い。

事務局：合併後に行った主なアンケート回収率

H18男女共同参画 45.9%

H20人権意識調査 44.3%

今回のアンケート 40.7% 回収率は下がっている状況。

- ・20代の回収率が悪いのは、住所はあるが学生で本人がここにいないということもあるかもしれない。
- ・中学生、高校生、若いお母さんがこの会に入ってもいいのではないか。
- ・この会のメンバー構成だが、50代、60代が多い。10年、20年先のことを考えるとやはり問題がある。高校生、20代、30代のグループでいろいろ意見を論じてもらえばと思う。

委員長：すでに委員会が動いているため、若い人たちの声をどう反映させていくのかということについては、この会の中でしっかりと考えていく。

今後の具体的な進め方について

委員を4つにグループ分け・・・ワーキンググループ(WG)

第1編から第4編までの4グループ

(第5編は「みんなのまちづくり」ということで、1から4を補完するような感じであるため、5はそれらがまとまった後で全体でまとめ上げる)

全体会を月に1回開催し、その間にWGを何回か持ち、次回に何らかの発表を行う。

構成：委員、関係課職員、グループ担当者(企画振興課職員)

(委員の意見)

- ・第1編から第5編まであり、14人を平均しても3人となる。3人では偏った意見にならないか。

副委員長：自分が勉強して意見が出せればよいが、世話係として、アンケートには出てこないもっと多くの町民の声を集めるということを意識してもよいのではないか。分担して効率的な作業を進め、それを報告しあってお互いの思いが言い合えるようにしてはどうか。

- ・策定委員会の案は町政にどう反映させるのか。

企画振興課長：町の羅針盤となるもので、10年後の町のあるべき姿を示し、いろいろな施策がはそこに向かっていき、これをベースにやっていくことになる。

・グループで3月末までに作業するとのことだが、どこまでを検討するのか。

企画振興課長：1回のWGだけで次の会に出せるとは思っていない。第3回策定委員会では、それまでに話し合われたことを報告いただければよい。何回かそれを繰り返しをしていくことになる。

委員長：WGが役場から出されたたたき台を追認する会であってはならない。委員もしっかりと考え方を持って、提供される資料に我々の思いを反映させていけるような会であってほしい。

その他

次回開催予定 11月4日(水)19時30分~21時

この後グループに話し合い(責任者の決定、次回までの日程調整など)

閉会